放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：　2026年　10月31日　　事業所名　放課後等デイサービス　FC Bombo Junior

		チェック項目	実数			割合
			はい	いいえ	合計	はい　いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	6	100% 0%
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	6	100% 0%
	3	生活空間は、こどもに分かりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6	0	6	100% 0%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	6	100% 0%
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	6	100% 0%
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	6	100% 0%
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	6	100% 0%
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	6	100% 0%
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	6	0% 100%
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	6	100% 0%
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	6	100% 0%
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	6	100% 0%
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	6	0	6	100% 0%
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0	6	100% 0%
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	6	0	6	100% 0%
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こど	6	0	6	100% 0%
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	6	100% 0%
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	6	100% 0%
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	6	100% 0%
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	6	100% 0%
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	6	100% 0%
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6	100% 0%
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	6	100% 0%

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	6	100% 0%
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	6	100% 0%
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	6	100% 0%
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	6	100% 0%
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	6	100% 0%
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	6	100% 0%
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	6	100% 0%
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	6	100% 0%
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	6	100% 0%
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	6	100% 0%
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	6	100% 0%
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	40	父母の会の活動を支援するとともに、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	6	100% 0%
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	6	100% 0%
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	6	100% 0%
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	6	100% 0%
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	6	100% 0%
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	6	100% 0%
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	6	100% 0%
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	6	100% 0%
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	6	100% 0%
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	6	100% 0%
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	6	100% 0%
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	6	100% 0%
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	6	100% 0%
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	6	100% 0%
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	6	100% 0%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年　10月31日

事業所名放課後等デイサービス　FC Bombo Junior

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	屋内と屋外にグラウンドがあり状況に併せて適宜有効に活用しています。	広い運動スペースがあり、サッカー以外でもいろんな運動をすることができます。安心安全に配慮して、職員の目が届くように各職員を配置します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	適切に配置を行っており、児童指導員に現役のサッカー選手も配置しております。	活動により職員の配置の仕方を変え、安全に利用できるようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	生活空間は子どもたちにとって分かりやすい環境となるよう整理整頓を心掛けています。	現在のご利用者様にとって適切であっても今後ご利用する方で配慮する部分がありましたら改善いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	生活空間は十分に確保されております。外出、活動後は手洗い、うがいなど徹底して行っております。	職員が確認を日々行い、心地よい環境になるよう今後も気をつけていきます。また、子どもたちが楽しんで参加できるような環境を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	個別で過ごせるスペースがあります。	周りがうるさい時など、集中してできる環境をづくりに努めていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	職員とのミーティングを支援後に行っています。	活動の振り返り、改善点など些細なことでも話し、さらに良い業務になるように努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	ご意見や、助言をしっかりと受け止め全職員に共有し改善します。	意見を受け止めて職員間で共有し、話し合いを行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	支援前後にミーティングを実施しております。	通しの良い職場環境づくりに努めていき、課題解決、業務改善を迅速に対応していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	第三者評価は受けておりません。	評価を受けてみて、参考にしてさらに良い支援にしていけるように努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	研修の情報を公表し、個々の希望する研修に参加しています。	参加できない職員には、録画視聴にて研修受講し職員全員が受講できるようにしています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	ホームページで公表しております。	現状で満足せず、より質の高いサービスを提供できるようにしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	アセスメントを通して、一人ひとりの困り感、悩み、要望を細かく聞き取りをして、計画の作成を行っています。	個々の子どもにあった支援計画が立案できるようにしていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	子どもたちのニーズを主に、職員全員で話し合いをして作成を行っております。	ご利用者の配慮する点や、最近の様子を職員間で共有し、その子にあった支援ができるようにしていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	子ども達一人ひとりへの関わり、支援を共通理解のもと行っております。	利用日に支援計画を確認して、その日の支援について共通認識のもと行えるようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	標準化されたツール、5領域でのアセスメントを行い、日々の話し合いや情報共有、共通理解をしたうえで支援していきます。	子供たちの日々の様子を職員間で情報の共有をして変化があればすぐに気がつける環境と、支援の見直しを行うようにします。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	各項目に対してのニーズに合わせて計画を作成しています。	各項目に対してのニーズを考慮し、適切な目標を立てて具体的な支援内容を個別に設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	職員間で話し合い、意見を出し合っての活動プログラムを立案しております。	療育の視点も大事ですが、まずは、子供たちが楽しく、喜んでいただける活動の作成をしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	活動のマンネリ化をなくすために日々いろんな活動を取り入れております。	子供たちの意見も取り入れてどんなことをやりたいかを聞いて可能な限り取り入れてあげることも大切だと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	活動に参加できない子へのアプローチをしっかりと行っております。	個々のアプローチによって役割や段階を集団活動のなかにも設定していき自主的に活動に参加できるように行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	支援前のミーティングで活動の打ち合わせや、役割の設定をしております。	職員の役割分担を明確にすることで、安全に活動や支援をおこなうことができるようしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	支援後には振り返り意見交換をして情報の共有を行っています。	本日の支援を一人ひとりが振り返ること日々支援を向上させていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	日々の支援内容は必ず記録して、職員同士で共有しております。	支援後には、しっかりと振り返りを行い、できなかったことを共有して改善することで職員のスキルアップにも繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	定期的なモニタリングを行っております。(3か月～6か月)	支援の記録、普段の生活態度からその子にあった計画を作成して支援しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	ガイドラインに沿っての活動の確認をしております。	自立・日常生活・創作・地域交流を組み合わせた個別支援計画の作成しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	その日の、役割分担、何の役割をするかの話し合いから活動に取り入れております。	子どもたちが自己決定できるように環境づくり、場所の提供をしていくことが大切なので、そういった場所をつくっていきます。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	必要に応じて参加させていただきております。	どの職員でも参加できるような体制を整えていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	関係機関との連携がとれる体制となっております。	適時関係機関との連携を行っており、情報の共有を行い支援を行っております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	送迎時や直接のお電話にてお話する時があります。	主に送迎時に、情報の共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	情報の共有など行っています。	必要に応じてさらに細かい情報も共有できる状況をつくっていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	情報が必要であれば提供いたします。	必要に応じて実施していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	必要に応じて行っています。	今後は、しっかりと児童発達支援センターとの連携をとりながら支援できるようにします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	外出活動などで機会を設けております。	地域のお祭りやイベントに参加しておりますが、参加の幅をどんどん広げていきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	参加しております。	地域の情報共有・資源開発のために今後も積極的に参加していきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	ご利用中の様子や課題等などを伝えております。	必要に応じて支援中でも電話、送迎時、保護者迎えの際に機会を通してお伝えしております。迅速な対応を心掛けています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	モニタリングや送迎時など、日々のお話しできる機会などにお困りごとなどお話させていただいております。	ご連絡が繋がらないときには連絡帳などを活用して、家庭との連絡を密に行い情報共有を行っていきたいです。
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	契約時に説明をしております。	ご契約時に分かりやすいご説明を心掛けてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	お子様ご本人の意向は個別支援計画の主として作成して、保護者様にもお話させていただいております。	基本は、個別支援計画作成の時期になりますが、必要に応じてお話する機会を更に増やしてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	モニタリング時に同意をいただいております。	変更がある場合は、分かりやすくお伝えするようにしております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	随時相談に応じております。	送迎時にお会いした際やお電話を差し上げるまたは、いただくなどして、お話をさせていただいております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	保護者会等の設置はしておりませんが、活動で親子参加型のイベントを開催することでそういう場を設けています。	保護者様もご一緒に参加される活動を設けて、その頻度を増やせていければと考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	苦情解決の体制を整備しております。	ご相談・苦情窓口担当者を事業所ごとに設けて速やかな対応と社内での報告、共有を行います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	月毎にかわら版の発行したり、ホームページでの公開しており、活動の様子がブログにてご確認いただけます。	行事予定や日々の様子などがホームページでご覧いただくことができます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	個人情報は外部の目に触れないよう配慮しており、文書等の破棄にはシュレッダーを使用してます。	個人情報保護法、法令を遵守致します。個人情報に関する研修を受けております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	必要に応じて行っています。	必要に応じて相談支援員さんや関係機関のご協力も得て行います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	事業所への招待はおこなっていませんので、機会があれば行っていきます。	交流を通して地域に開かれた事業所を目指していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	安全委員会を設置しており、各種マニュアルを作成しており、いつでも確認が出来るようになっています。	安全委員会にて各種マニュアルを設置しており、これを共有し実施しております。これらの研修や訓練を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	事業継続計画（BCP）を毎年作成して実施しております。	計画に沿って定期的に研修や訓練を行っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	契約時のアセスメントを行う際に情報の共有をさせていただいております。	その際の対応をマニュアル作成して、職員に共有いたします。医師とも相談していきたいと思います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	アセスメントの際に確認しており職員間で共有しております。	ご相談に応じて医師にも相談して連携を図っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	安全委員会を設置しており、計画的に委員会を開いて、研修や訓練を行っております。	安全委員会にて各種のマニュアル作成して共有しています。定期的な研修や訓練の見直しも行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	契約時の説明で計画をお話させていただいております。	保護者様にも理解していただけるような取り組みにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	ヒヤリハットが出た際には職員に共有します。	内容を確認して必要に応じて対策を行っていきます。危険個所の排除を行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	虐待防止委員会を設置しており、虐待防止のための研修も全職員が積極的に取り組んでおります。	研修だけでなく、日ごろからの心掛けて支援を行っていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	原則身体拘束は行いませんが、必要時には保護者様に同意を得て法令を遵守しこれを行います。	身体拘束についての研修を受けおりますが、原則としてそれ以外の方法で対応していきます。